

会 議 録

1 会 議 名 木更津市立公民館運営審議会第2回定例会

2 開 催 日 時 平成26年10月2日(木)午後2時~午後5時

3 開 催 場 所 木更津市立中央公民館 1階大ホール

4 出席者氏名 【公民館運営審議会委員】 18名

若鍋 知幸 影山 匡子 本多 二三代 村上 淑子 石井 京子
松尾 玲子 青木 健 古藤田 憲之 元木 栄 三上 由美子
森田 美保子 金子 邦夫 山田 治子 丸岡 千佳子 佐藤 せつ子
澤邊 賢司 瓜田 栄一 菅原 興二

【公民館長】 15名

渡邊 雅夫(中央公民館) 伊藤 勉(八幡台公民館)
高橋 栄二(富来田公民館) 泉水 義治(東清公民館)
江野澤 和彦(岩根公民館) 原 敏美(清見台公民館)
石塚 幸一(鎌足公民館) 山中 裕(岩根西公民館)
小原 俊郎(金田公民館) 本多 豊(西清川公民館)
小川 恵市(中郷公民館) 根本 弘(波岡公民館)
加藤 芳生(富岡公民館) 林 正巳(桜井公民館)
室前 恵子(文京公民館)

【事務局職員】 4名

星野 隆弘(中央公民館副館長)
齋藤 礼司郎(中央公民館主査)
栗本 優(中央公民館主事) 稲村 員代(中央公民館社会教育指導員)

5 議題及び公開又は非公開の別 公開

議案第1号 平成26年度公民館文化祭(まつり)について

議案第2号 平成26年度公民館文化祭(まつり)視察研修について

報告事項 (1) 各種選出委員からの活動経過報告

①木更津市生涯学習推進協議会委員

②木更津市社会教育委員

③木更津市図書館協議会委員

④木更津市生涯学習フェスティバル実行委員

(2) 第66回千葉県公民館研究大会について

(3) 君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会全体研修会について

(4) 公民館周年記念事業について

(5) その他

6 傍聴人の数 0人

7 会議概要 以下のとおり

事務局より、出席者数が18名で過半数に達したため、会議が成立した旨を報告する。
山田治子委員長長の挨拶に続いて、山田委員長の議長により議事に入った。

<議案第1号> 平成26年度公民館文化祭（まつり）について

各公民館より資料として提出された「平成26年度公民館文化祭（まつり）事業計画書」及び「平成26年度公民館文化祭収支予算書」を基に、全館の取り組みの概略について、中央公民館長より説明がなされた。

【渡邊中央公民館長より説明】

中央公民館長：各公民館では、地域住民や公民館利用者による実行委員会が組織され、日ごろの公民館における学習活動の成果の展示・発表をはじめ、地域の特色を活かした様々な内容が予定されております。

今年度の各公民館の日程については、10月の第4週の土・日を中心に実施いたします公民館が、岩根公民館、金田公民館、文京公民館、畑沢公民館、岩根西公民館の5館でございます。また、11月の第1週の土・日を中心に実施いたします公民館は、富来田公民館、鎌足公民館、中郷公民館、富岡公民館、八幡台公民館、東清公民館、清見台公民館、西清川公民館、波岡公民館、桜井公民館の10館でございます。中央公民館につきましては、11月8日（土）・9日（日）の2日間で実施いたします。なお、中央公民館は開館50周年、畑沢公民館は開館30周年ということで、いずれも各記念事業の一環に文化祭を位置づけて取り組んでいるところでございます。

各地区の文化祭の詳細な日程や実施内容については、資料をご覧くださいと思います。

今回新たに文化祭のテーマを変えたのは、中央、金田、東清、桜井の4公民館です。また、地区社協が運営する敬老会と合同で開催しているのは、中央、岩根、鎌足、畑沢の4公民館で、他に清見台では、地区社協が高齢者を招待し、桜井では、老人クラブを招待しています。

次に、文化祭の予算でございますが、収入につきましては、市の補助金、地区やサークル等からの協力金、模擬店の収益やバザーの売り上げ等の諸収入が主なものです。支出につきましては、各種謝礼金や参加児童等への参加賞として支出される賞賜金、必要物品の購入に当てる消耗品費の他、燃料費、食料費、印刷製本費、賄材料費、通信運搬費、手数料、保険料、使用料及び賃借料、備品購入費、さらに予備費が計上されております。内訳、金額の詳細については、資料のとおりでございます。

議長が、各公民館長に対して、補足や追加説明を求める。特に補足説明などはなく、引き続き質疑応答に入った。

【委員からの質問・意見】

本多三三委員： 質問ではありませんが、地域住民の交流はもとより、地域文化の掘り起こしや再発見など、工夫を凝らし、各公民館が地域の核となるべく、努力されていることを感じました。

瓜田栄一委員：畑沢のイベントであるダンスパーティやグランドゴルフ大会の運営方法や過去の参加状況について教えてください。また、敬老のつどいと文化祭の合同実施は素晴らしいと思いますが、何か苦勞することはないですか。

それから、岩根のプレ行事を文化祭の日程外にした理由は何ですか。

あと、東清の長い太巻き寿司作りの内容について、富来田の交流会や金田の反省会の

実施方法について教えてください。

- 渡邊館長： 畑沢のイベントの状況については、山口館長が欠席のため、後ほど調べて回答させていただきます。敬老のつどい（敬老会）は、現在、中央、岩根、鎌足、畑沢の4地区が、文化祭の日程に合わせて合同で開催しており、予算も含め、各地区の社会福祉協議会が中心となって運営しております。実行委員会を通じて、区長や関係団体と公民館が十分に連絡調整を図りながら取り組まなければなりません、逆に地域との連携やつながりを強化していく機会にもなっています。
- 江野澤館長： 文化祭期間中は、各部屋を展示会場として使用するため、気功体験教室を同時開催することができないため、日を改めてプレ行事としているものでございます。
- 泉水館長： 元太巻き寿司サークルの主催により、30名を一般公募して東清小の体育館で実施いたします。参加費は500円で、巻いたお寿司は全員で試食することになっております。
- 高橋館長： 文化祭最終日に、終了後、参加サークルから代表者等2～3名が出席し、当番制による司会と会費制で、約1時間程度の交流会を行なっています。
- 小原館長： 文化祭最終日に、終了後、実行委員会を開催し、参加団体による反省会を行なっています。
- 渡邊館長： 文化祭最終日に、終了後、区長やサークル等実行委員希望者により、参加費500円で、簡単な打ち下げを行ないます。
- 古藤田憲之委員： これまでと異なる運営や組織体制、異なる特色のある取り組み等があれば、お聞かせいただきたい。
- 渡邊館長： 中央については、公民館まつりを50周年記念事業の一つに位置付けており、50周年記念事業実行委員会の中の公民館まつり部会が中心となって文化祭の実施、運営に当たることになっております。
- 石井京子委員： 敬老会と合同で行っているところでは、どのようにしているのですか。
- 青木健委員： 細かいことまでは把握しておりませんが、運営は地区社会福祉協議会が行い、予算も文化祭とは別になっています。
- 佐藤せつ子委員： 桜井の子どもまつりについて、どのようなものかお聞かせください。
また、中央の印刷製本費の内容について、富岡の植木手入れはどのように行っているのか、また、西清川の収入の部の諸収入に模擬店売上金が入っているが、他とは違って額も大きくその仕組みを教えてください。
それから、波岡のシルバー人材に対する賃金の理由についてお聞かせください。

- 林館長： 公募して集まった13名の子どもスタッフが中心となって会議を開き、文化祭期間に合わせて芸能などの企画と運営を行います。また、この実行委員会は、文化祭終了後も解散せずに、12月にはクリスマス会を企画、実施したりしています。
- 渡邊館長： 印刷製本費は、公民館まつりのチラシの外部発注による印刷にかかる経費です。
- 加藤館長： 公民館の敷地が文化祭の会場になることから、大きくなった植木の剪定を、実行委員会が、文化祭時期に合わせて行っているものです。
- 本多館長： 実行委員会が直営で模擬店を行うため、その売上金が諸収入に入ってくるものです。
- 根本館長： 日赤の協力を得て、非常食であるハイゼックス米の炊き出し体験を行います。そのスタッフ要員として、シルバー人材センターより派遣してもらう人に支払う賃金でございませう。
- 金子邦夫委員： 波岡の福祉施設入所者の作品展示は良い試みだと思います。障害者の方が公民館に足を運ぶのはたいへんだと思いますが、車椅子の方等に対して、何か特別な対応をしているのですか。
それから、岩根のテーマは、「一人ひとりが輝き、お年寄りにやさしいまちに」と、高齢者を意識していますが、このテーマに決まった理由が特にあればお聞かせください。
- 根本館長： 文化祭期間中は障害者も車椅子で自由に見学できるようになっており、特別な対応などはしていませんが、日赤をはじめ地域の福祉団体や福祉施設などと連携したり、敬老会と共催して開催するなど、そうした取り組みが徐々に増えていると思われませう。
- 江野澤館長： 岩根地区は高齢化率が高く、公民館のサークルや利用者も高齢化が進んでおります。また、文化祭と敬老会を同時開催することから、多くの高齢者の方々が来場いたします。そうした現状を踏まえて、地区社協や役員さんの意見を伺いながら、最終的に実行委員会の総意でこのテーマに決まりました。
- 丸岡委員： 金田のオセロ大会とヒップホップダンスについて、珍しいと感じたので詳細を教えてください。
それから、模擬店の種類が多いのですが、どんな人たちが参加しているのですか。
- 小原館長： オセロは既に10年以上前から地元の公会堂をお借りして、小学生を対象に、PTAが中心となって運営をしております。また、ヒップホップダンスですが、地元の高校生に習っている生徒がいて、その生徒に依頼して夏休みに子ども対象の教室を計画したのですが、結果的に参加者が集まらず実施できませんでした。今回は、その地元の高校生に、文化祭のオープニングセレモニーの場で、ヒップホップダンスを披露していただく予定になっております。模擬店の内容に関しては資料のとおりですが、参加については、区長会を始め、青少年相談員、PTA、幼稚園父母の会、防犯指導員などが出店いたします。また、主催事業でそば打ち講座を行っており、そばの実演販売も行う予定となっております。

以上で質疑応答や意見は終了し、議長が承認を求めた結果、拍手多数で議案第1号は承認された。続いて、議案第2号の審議に入る。

<議案第2号> 平成26年度公民館文化祭(まつり)視察研修について
事務局より、今年度の公民館文化祭視察研修の実施概要について説明がなされた。

事務局： 今年度の視察は、生涯学習バスを使用して10月26日(日)と11月2日(日)の2回に分けて実施いたします。1回目は岩根、金田、文京、畑沢、岩根西の5館、2回目は富来田、鎌足、中郷、富岡、八幡台、東清、清見台、西清川、波岡、桜井の10館を予定しております。コース及び日程については、資料のとおりですが、2回目については、昨年度と逆回りのコースと日程になっております。1館の視察時間は、1回目が30分、2回目が20分となります。委員の参加申込みについては、あらためて案内文書を差し上げますので、期限までに事務局まで申し込みください。多数のご参加をお願いいたします。

事務局の説明に対して、質問や意見などは無く、議案第2号は承認された。

<報告事項>

引き続き報告事項に移る。各選出委員から活動経過について、続いて事務局等からその他について報告が行われた。

(1) 各種選出委員からの活動経過報告

① 木更津市生涯学習推進協議会委員

松尾委員より、7月18日に開催された第1回平成26年度木更津市生涯学習推進協議会の概要、平成26年度の重点方針や新役員が決まったこと、20回目を迎えた今年度の市民公開講座が終了したこと等について報告がなされた。

② 木更津市社会教育委員会

青木委員より、10月7日に第2回会議が予定されており、現時点では特に報告事項はない旨話があった。

③ 木更津市図書館協議会委員

佐藤委員より、7月25日に図書館で会議が開催され、平成25年度事業報告や平成26年度事業計画について協議されたことや、当日、図書館主催によるおはなし会の実演が行われた様子について報告がなされた。

④ 木更津市生涯学習フェスティバル実行委員

森田委員より、10月14日に福祉会館で開催される3回目の実行委員会で概要が確定してくるが、市子漣会長が実行委員長を務め、例年通り市民会館と市民体育館をメイン会場に開催する予定であること、記念講演会の講師にチアリーダーの有名な選手を予定していること、懸案事項として、開催月日を決めてはどうかという意見がだされており、実施が可能な日程調整を図るために、各参加団体の希望する日を検討してくること等が報告された。

(2) 第66回千葉県公民館研究大会について

事務局より、11月28日に芝山町芝山文化センターで開催される第66回千葉県公民館研究大会に、木更津市の公民館関係者として9名の委員を含む18名が参加すること、当日は午前8時15分に中央公民館に集合し、役員等を除き、市の公用車で揃って行くことが報告された。

(3) 君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会全体研修会について

山田委員長より、12月に4市の君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会による研修会が予定されており、詳細については、理事会で決定後事務局より連絡がある旨の報告がなされた。

(4) 周年記念事業について

渡邊中央公民館長より、中央公民館開館50周年記念事業の日程とその一環で実施される記念イベント（教育講演会や寺町きさらづぶらりウォーク等）について、畑沢公民館開館30周年記念事業の日程等について報告がなされた。

(5) その他

その他として、「公民館を中心とした地域自治の充実に向けた制度づくり」に関して、現在取り組みが行われているモデル地区（岩根西、富来田、西清川）の活動状況について、それぞれの公民館長より、配布資料をもとに報告がなされた。

報告事項に対して、議長が質問を求める。

丸岡委員： まちづくり協議会のような制度は、全ての公民館で実施することになるのですか。現在、地域のつながりが薄くなっている現状もあると思うが、例えば新興住宅地等自治会がないところでは、どのように取り組んでいくのでしょうか。

渡邊館長： 所管が企画課であることから、公民館としては、お互いに話し合いを重ねながら、実施が可能な3地区でモデル事業として行っているものです。今後の展開については、現在のところ未定でございます。

丸岡委員： モデル地区については、どのようないきさつで取り組むことが決まったのですか。

山中館長： 岩根西については、地区住民会議への説明などを経て、最終的に地域が自発的に手を挙げて受けたという経緯があり、住民会議を母体に新たにまちづくり協議会を立ち上げ、平成24年度から取り組んでおります。

その他に質問などはなく、予定していた審議を終了した。

平成26年10月17日

議事録署名人 木更津市立公民館運営審議会
委員長 山田 治子